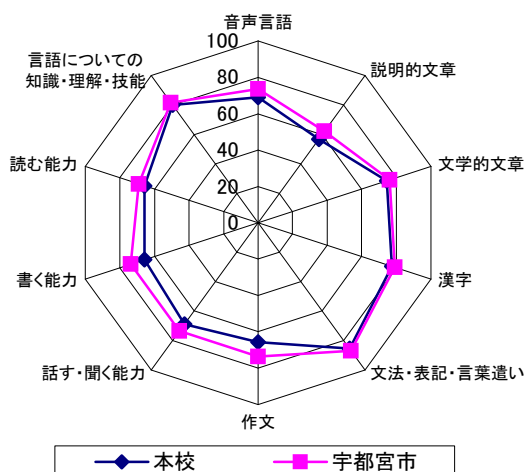


宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	69.0	73.7
	説明的文章	56.8	62.1
	文学的文章	74.4	76.1
	漢字	77.5	79.0
	文法・表記・言葉遣い	85.5	87.0
	作文	65.6	73.5
観点別	話す・聞く能力	69.0	73.7
	書く能力	65.6	73.5
	読む能力	65.6	69.1
	言語についての知識・理解・技能	80.2	81.6



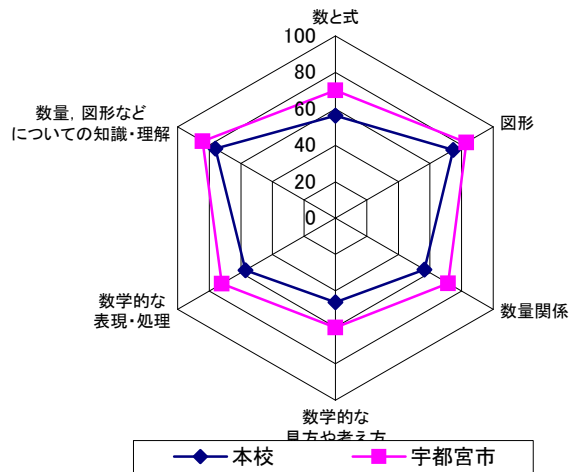
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (69.0%)	昨年度より0.3ポイント上昇しているが、正答率が70%を下回っており、満足できる状況とはいえない。意見の聞き取りに誤答が多い。	授業中の「聞く・話す」という活動の機会を増やすとともに、聞き取りを中心としたテストを工夫して実施していきたい。
説明的文章 (56.8%)	昨年度より2.9ポイント上昇しているが、正答率が60%を下回っており、満足できる状況とはいえない。文脈に即した内容の理解に課題がある。	昨年同様、段落ごとの要旨の読み取りや文章にあらわす機会を増やすとともに、キーワードやキーセンテンスを探し出せるような工夫をしていきたい。
文学的文章 (74.4%)	昨年度より20.7ポイント上昇しているが、市の平均をやや下回っている。登場人物の心情や動作の理由の読み取りの理解が不十分である。	登場人物の心情描写や行動描写をていねいにあつかい、場面の展開に即した内容理解ができるような指導を工夫していきたい。
漢字 (77.5%)	昨年度より7.7ポイント上昇しているが、中学校1年生・2年生の漢字の書き取りに課題がある。	昨年同様、新出漢字を中心に漢字練習を宿題として出しながら、小テストを頻繁におこない、確実に漢字力が身につくように指導していきたい。
文法・表記・言葉遣い (85.5%)	昨年度とくらべ21.9ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。小問別に見ると、文法の活用の種類の理解に課題がある。	昨年同様、文法学習への苦手意識をなくすような指導を工夫するとともに、練習問題を数多くおこなう時間を確保していきたい。
作文 (65.6%)	昨年度より8.1ポイント減少し、あまり満足できる状況とはいえない。小問別に見ると、故事成語の活用に課題がある。	故事成語に関する指導の時間を確保するとともに、学級での日記指導との関連を図りながら、作文を書く機会を多くもてるよう時間を確保し、指導を工夫していきたい。また、読書の時間に読む本の紹介をおこなうことで優れた文章に触れさせ、作文を書くときの参考となるような指導をおこないたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	56.2	70.1
	図形	74.8	82.9
	数量関係	56.5	71.4
観点別	数学的な見方や考え方	46.3	60.1
	数学的な表現・処理	57.2	72.0
	数量、図形などについての知識・理解	76.1	84.2



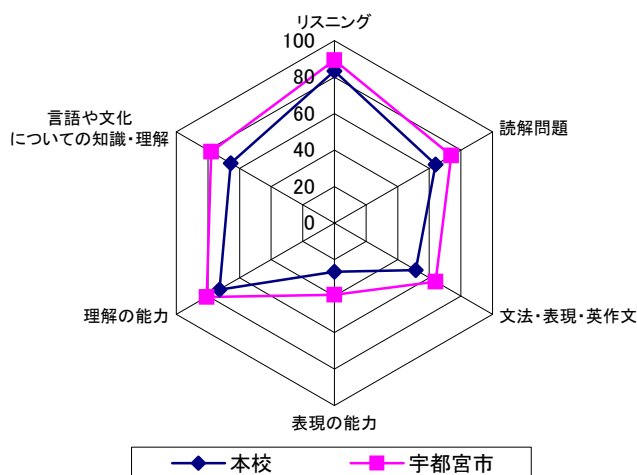
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (56.2%)	市の平均を大きく下回っており、計算力の向上が必要である。特に文字式への抵抗が目立ち、表し方や計算方法について知識が身につけていない。また、分配法則などの復習も必要である。	計算力の向上のため、既習事項を確認するための復習の時間を確保したい。また、文字を使うことの意義や代入の仕方についても細かく指導していきたい。また、計算練習を宿題として出し、小テストを定期的実施することで、計算力を向上させていきたい。
図形 (74.8%)	他の2領域に比べ正答率が高くなっているが、満足できる状況とはいえない。多角形の内角の和の求め方、証明の書き方が不十分である。	証明や図形の性質の学習を通して、物事を筋道立てて考えることに重点を置くとともに、自分の考えを自分の言葉で表現できるよう、指導の工夫をしていきたい。
数量関係 (56.5%)	関数について、苦手意識を持っている生徒が多く、正答率も伸びていない。特に代入して関数の式を求める方法が身につけていない。また、表、式、グラフの関係も整理できていない。	表・式・グラフの関係を正しく理解させるとともに、代入して式を求めることも繰り返し練習することに力を入れていきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	83.4	89.3
	読解問題	64.0	73.9
	文法・表現・英作文	51.4	64.0
観点別	表現の能力	26.7	39.3
	理解の能力	72.8	80.9
	言語や文化についての知識・理解	65.5	78.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (83.4%)	昨年度より12.2ポイント上昇しており、おおむね満足できる状況である。小問別に見ると、内容把握に関する問題で課題がある。	ALTやCDの効果的な活動を増やし、英語を耳にする機会を増やすとともに、短文の内容把握を繰り返し指導していきたい。
読解問題 (64.0%)	昨年度より0.6ポイント減少し、あまり満足した状況とはいえない。長文の内容把握において課題がある。	内容把握のポイントを提示する指導を継続するとともに、長文の内容確認について小テストの実施とテスト後の詳細な解説などを工夫して指導していきたい。
文法・表現・英作文 (51.4%)	昨年度より4.8ポイント上昇しているが、市の平均をぬぐい越した回っており、満足できる状況とはいえない。対話文の空所補充の問題に課題がある。	基本文・基本単語の繰り返しの練習を宿題として出し、定着を図っていききたい。また、身の回りのことを英語で表現する機会を増やしていきたい。